

もみじ

2005
August

8

第6号



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
TEL (082) 254-1818 (代) FAX (082) 253-8274
ホームページ <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>

(財)日本医療機能評価機構認定病院 認定第JC175号一般病院



理念 県民の皆様にも愛され信頼される病院をめざします

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、真心のこもった医療を実践します。
2. 医療事故ゼロを目標として、患者様の安全対策に努めます。
3. 県の基幹病院として、21世紀の高度・先進医療を推進します。
4. 各医療機関と連携を強め、地域医療の充実向上に貢献します。
5. 健全な病院運営に努め、良質な医療サービスを提供します。

母子総合医療センターについて ～周産期医療の中核を担って～

県立広島病院母子総合医療センターは、県内外から集中治療の必要がある母体・胎児・新生児を一貫して治療、管理する周産期部門(産科、新生児科)を中心に、小児科、小児外科、婦人科の機能を総合的に連携させ、母親と子供に対する高度で総合的なチーム医療を行っています。

このうち、産科と新生児科で構成される周産期部門は、平成10(1998)年に、国が都道府県に1カ所整備を進めている「総合周産期母子医療センター」の指定を中四国地方ではじめて受け、スタッフ

と施設が一段と強化されました。そして、広島県における周産期医療の中核として、高度・先進医療の推進と維持を図っています。また、県内各地域に設置された地域周産期母子医療センターの9病院と連携をとり、周産期医療について情報提供、研修、調査、相談、研究のセンターとしての機能も担っています。

産科では、母体専用の集中治療室で胎児心拍数だけでなく母体の血圧、呼吸などの状態も24時間連続で監視する体制を整備しており、年間100名以上の妊婦さんを他院から緊急で受け入れています。また、手術部とも共同して、院内はもとより院外からの緊急帝王切開にもすみやかに対応できるようになっています。新生児科も同様に24時間集中治療体制で、毎年約60名以上の1,500g未満の低体重児を含む約250名を受け入れています。また、母子の絆を深め、発達や発育を促すためのカンガルーケアや、受け持ち看護師による親子への関わりにも力を入れています。



母子総合医療センター 治療・管理体制



小児外科

小児の一般外科疾患を扱っています。特にそけいヘルニアの手術は、傷痕がほとんど残らない方法で、年間約200例、手術時間10～15分、再発率0.1%以下という治療成績は我が国トップクラスです。小児は組織も発達しておらず、大人のミニチュアではありません。将来を見据え、合併症も残らないよう、いろいろな機能を考えながら治療を行っています。産科、新生児科、小児科との密接な協力態勢も万全です。



小児科

広島市には小児医療のネットワークがあり、各々の総合病院の小児科が特徴を持って、医療のレベルアップに取り組んでいます。当院は小児の腎疾患を専門的に診療しており、小児期慢性腎不全の透析および腎移植など、小児の腎臓の病気に対して一貫した診療を行っています。通常よくみられるウイルス・細菌の感染症のほか、アレルギー・免疫の病気、内分泌や神経の病気を患った子どもさんなど、幅広く診療しています。



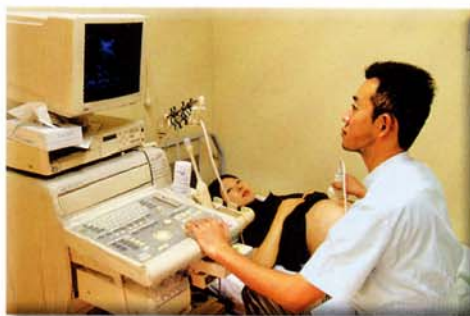
産科

出産年齢の高齢化、勤労婦人の増加、体外受精などの不妊治療による多胎妊娠の増加など、社会情勢の変化により、高度な医療を必要とするハイリスク妊娠が増加しています。当科は新生児科とともに広島県における唯一の総合周産期母子医療センターの指定を受けています。他の施設で分娩予定であった妊婦さんであっても、医師が必要と判断すれば緊急に当科に入院し、分娩していただくことが可能です。



新生児科

新生児医療の特徴は「長期集中治療が必要な救命救急医療」であるとともに、入院した時から退院後も引き続き「赤ちゃんの発達支援」と「育児支援」を要求されます。分娩立ち会い依頼には24時間体制で新生児科医が対応し、遠隔地からはヘリコプター搬送による受け入れなど、地域周産期医療施設との連携を組み、広島県の周産期医療の中核となって機能しています。赤ちゃんとそのご家族の立場を考慮した医療こそ、少子化社会での新生児医療と考えています。



婦人科

患者様のQOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）を重視し、プライバシーの保護にも努め、より短期間の入院で検査や治療が行えるようにしています。早期癌には機能温存療法を行い、進行癌にはより高度な集学的治療を行っています。子宮全摘術が標準治療とされていた上皮内癌も、円錐切除により子宮を温存し、妊娠や分娩を行うことが可能となりました。なお、特殊外来として、腫瘍外来、更年期外来の診療も行っています。

小児感覚器科（平成17年10月設置予定）

最先端の高度医療機器

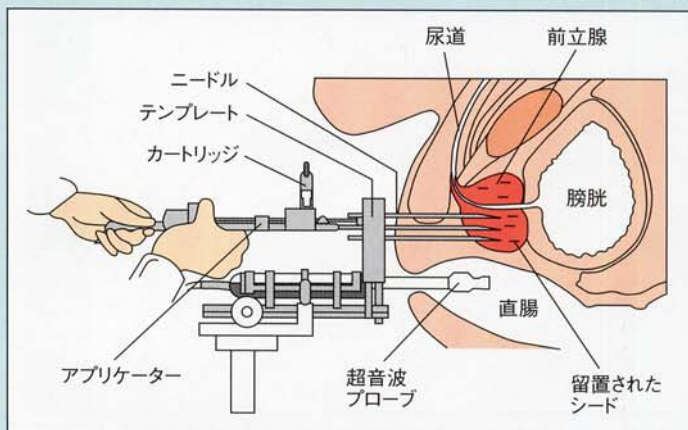
●前立腺癌密封小線源装置について●

泌尿器科部長 中原 満

我が国の前立腺癌患者数は急激な増加傾向にあり、2000年の新規患者数は約23,000人、2005年は37,000人、2010年は53,500人と予測されています。腫瘍マーカー（前立腺特異抗原）の有用性などから、新たに診断される前立腺癌の大半は早期癌に移行しています。従って早期前立腺癌の治療が重要な課題となっています。

抗男性ホルモン療法は有効性が高いものの、長期的にはホルモン抵抗性癌になることが多く根治性に乏しい。一方、前立腺を摘出する前立腺全摘除術は根治性が高いものの、高齢者や心疾患などの合併症のある患者には手術侵襲が問題となります。また放射線治療は早期癌の根治的治療の一つで、体外から前立腺癌病巣に向けて照射する外照射法が一般的です。これに対して、前立腺内に放射性同位元素であるヨード125を刺入・留置して治療をする方法が、前立腺癌密封小線源療法です。

米国ではすでに10年間の成績が評価され、当該症例では根治治療が可能とされ、最近では急激に普及してきています。一方、我が国では2003年9月に最初の治療がなされ、現在では約30施設で施行されている新しい治療法です。入院期間が短く、比較的低侵襲で早期の社会復帰が望める根治治療法として注目され、わが国でもこの治療法の普及、増加が予測されています。当院ではこの度、前立腺癌密封小線源治療室を整備し、近々に治療を開始します。



小線源療法の模式図

院内レストラン

「ボンルパ」開店

太陽が照りつけて気温が上昇した屋外と、冷房で冷えた室内との温度差で、体調を崩しやすい時期です。冷房が効きすぎて体が冷えたり、熱さのせいで食欲が減退し、体力が落ちて風邪をひきやすくなります。また夏はアウトドアで過ごすことが多くなります。長時間日光に当たると紫外線により、しみの原因になります。皮膚の弾力を失わせ、老化を早める作用もあります。しっかり栄養を補給して、夏のトラブルを予防しましょう。

メニューのご案内



夏メニュー	450円
中華丼	450円
カレーライス	430円
バイキングランチ	500円
きつねうどん	350円
ラーメン	400円

東棟3F レストラン「ボンルパ」

県立広島病院外来診療担当医表

平成17年8月1日

診療科	区分	月	火	水	木	金	診療科	区分	月	火	水	木	金				
内科	1 総合	(再診)	(再診)	桑原	(再診)	金	整形外科	初診	杉田	担当医	杉田	担当医	金				
	2 総合	宮本(真樹)	溝岡	宮本(真樹)	担当医	溝岡			村上(祐)	(手術)	平尾	(手術)	井上				
	3 呼吸器	前田	高倉	前田	前田	井原			平尾	岩崎	岩崎	岩崎	村上(祐)				
	4 呼吸器	山崎(正)	土井	山崎(正)	土井	桑原			岩崎	担当医	井上	担当医	岩崎				
	6 神経内科(初診)	時信	池田	時信	池田	時信			新本	(手術)	藤岡	(手術)	村上(祐)				
	7 神経内科(再診)	池田	時信	池田	時信	今村		午後	検査	(手術)	セカセカ(予約のみ)	(手術)	検査				
	8 内視鏡	赤木	隅岡	佐藤(理)	隅岡	平本			リハビリテーション科	麻生	麻生	杉田/麻生	麻生	麻生			
	9 消化器					平田			1 診	溝上	木矢	木矢	溝上	佐藤(秀)			
	10 消化器	渡辺	山田	山田	大庭	渡辺(炎症性腸疾患)			2 診	梶原	佐藤(秀)	佐藤(秀)	溝上	並河			
	11 消化器	今川	北本(肝疾患)	今川	北本(肝疾患)	鬼武(敏)			3 診		近藤	並河	梶原				
	外科	12 循環器	橋本	岡本	第4:山崎(純) その他:横田	橋本		岡本	脳外科	午前	1 診	高路	高路	水野	高路		
		13 循環器	第2・4:岩本 その他:山崎(純)	藤井	末田	末田		梶原			2 診	水野	鼻岡	水野	鼻岡		
		14 内分泌・腎臓内科	小川	山下	小川	浅井		久保			3 診						
		15 内分泌・腎臓内科	久保	久保	山下	久保		山下			1 診	高路	(手術)	検査	高路	(手術)	
		3 呼吸器	土井(喘息)	山崎(正)(喘息)	前田(膠原病)	前田(膠原病)		山崎(正)(喘息)			2 診	水野		水野			
4 呼吸器		桑原(喘息)	土井		土井	桑原	3 診										
7 神経内科		池田	時信	郡山	時信	今村	皮膚科	午後		1 診	高路	(手術)	検査	高路	(手術)		
9 消化器・血液内科					坂井(血液)	平田				2 診	水野		水野				
14 内分泌・腎臓内科		浅井	山下	浅井	浅井	久保				3 診							
15 内分泌・腎臓内科		久保	久保	山下	久保	山下				1 診	高路	(手術)	検査	高路	(手術)		
3 呼吸器		土井(喘息)	山崎(正)(喘息)	前田(膠原病)	前田(膠原病)	山崎(正)(喘息)				2 診	水野		水野				
検査		消化器内視鏡(午前・午後)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	泌尿器科		午前	1 診	中原	藤原(政)	中原	中原		
		エコー	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医				2 診	永松	石田	永松	藤原(政)		
		ERCP・EIS等									3 診						
		負荷心筋シンチ									午後	ESWL(担当医)	(手術)	ESWL(担当医)	ESWL(担当医)	(手術)	
	心臓カテーテル	岡本	末田	担当医	岡本	末田	午前		1 診		坂下	坂下	坂下	向井	中野(坂下)		
	気管支鏡	岡本	末田	担当医	岡本	末田			2 診	占部	占部	占部	上田	占部			
	尿管支鏡	岡本	末田	担当医	岡本	末田			3 診	吉本	向井	向井	中野	上田			
		末田	橋本		末田	橋本			伊達	吉本	中野	藤原(久)	藤原(久)	伊達			
		梶原	横田		梶原	横田			手術(手術)	手術	手術	手術	手術	手術			
	精神神経科	1 診	高畑	三宅	高畑	高畑	高畑		眼科	午前	1 診	長谷部(10:30~)	野間(10:30~)	長谷部(10:30~)	立川		
		2 診	白尾	白尾	出本	白尾	古庄				2 診	野間	石田	野間	石田(10:30~)		
		3 診	古庄	宮坂	宮坂	三宅	宮坂				3 診	石田	長谷部	石田	長谷部		
		1~3診			予約のみ午後診療						午後	未熟児網膜	(手術)	未熟児網膜	(手術)		
		心理療法	中津	中津	中津/山城	中津/山城	中津/藤巴				耳鼻科	午前	1 診	小野	小野	平位	担当医
		1 診	坂野	大田	坂野	大田	坂野		2 診	小野			小野	平位	担当医		
2 診		大田	木下	大田	木下	木下	3 診	羽嶋	羽嶋	羽嶋(10:30~)			担当医				
3 診		藤井	中村	藤井	中村	中村	4 診	福島(9:30~)	福島	小野			担当医				
1 診		循環器	腎	腎・内分泌	膠原病・免疫	腎臓検査	午後	特殊外来	(手術)	特殊検査			(手術)				
小児科		新生児	藤原(信)	藤原(信)		木原/福原	福原	放射線科	午前	消化管造影検査	木村	今福	沖本	鶴留	門前		
		午前	古田	(手術)	古田	大津	(手術)			CT	鶴留/今福	鶴留/木村	山砥/鶴留	今福/門前	木村/沖本		
		午後	(検査)	大津	(検査)	(手術)	古田			MRI	沖本	山砥	木村	沖本			
		1 診	福田(康)	田中(恒)	漆原	福田(康)	田中(恒)			放射線治療	門前	門前	門前	木村	今福		
		2 診	※石川	香川(乳癌外来)	※田中(一)	※新宅	※田中(一)			RI、単純撮影	山砥	沖本	門前	木村	今福		
		一般外科	3 診	米神	大城	中原	真次		香川	午後	外来	門前	門前	山砥	今福		
	4 診				新井		松田		CT		木村	山砥	沖本	鶴留	沖本/門前	沖本/山砥	今福/門前
	1 診		福田(康)	中原	漆原	田中(恒)			MRI		今福	木村	今福	鶴留	鶴留		
	2 診		※石川	香川(乳癌外来)	※腎移植外来				血管造影		沖本	鶴留	今福	山砥	木村	鶴留	
	3 診		真次	大城	中原	真次	香川		放射線治療		門前	門前	門前	木村	今福		
	心臓血管外科		4 診	ストーム外来(第1~3)					松田	午前	初診	桐山	延原	桐山	桐山	延原	
			1 診	担当医	濱中	担当医	担当医		濱中		再診	延原	桐山	延原	延原	桐山	
			2 診	(手術)	三井	(手術)	(手術)		平井		午後(予約のみ)	手術	手術	手術	手術	手術	
			3 診						三井		診察(ペインクリニック)	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	
			午後	(手術)		(手術)	ハースメーカ外来		担当医		女性外来	術前診察(10:00~)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
その他			1 診						午後	区		第1木曜日	第2木曜日	第3木曜日	第4木曜日	第5木曜日	
			2 診							午後(予約のみ)		山岡	尾崎	山岡	大田垣	大田垣	
			3 診										本家			小原	
			午後	(手術)		(手術)											

(注) 手術のうちで、【(手術)】は、手術室で行われる手術を、【手術】は、外来診療室で行われる手術を表示してある。

紹介状持参のお願い

初診で来院される際には、必ず「紹介状」をご持参いただきますようお願いいたします。

・ 当院では、お近くのかかりつけ医の先生と連携し、専門的な検査や入院治療を行い、皆様のお役に立ちたいと考えております。

「紹介状」は、かかりつけ医と当院とを連携するものです。

事前にかかりつけ医からFAXによって診療予約をすることができます。

・ 紹介患者専用の受付を設置しております。お問い合わせ：地域連携科(病診連携担当) TEL (082) 252-6241 FAX (082) 252-6240

診療科案内

総合診療科	一般外科	耳鼻咽喉科・	リハビリテーション科
消化器内科	心臓血管外科	頭頸部外科	放射線科
呼吸器内科	胸部外科	小児科	麻酔集中治療科
内視鏡科	整形外科	小児外科	(ペインクリニック)
内分泌・腎臓内科	脳神経外科	産科	緩和ケア科
循環器内科	皮膚科	婦人科	透析・腎臓外科
神経内科	泌尿器科	新生児科	救命集中治療科
精神神経科	眼科	歯科・口腔外科	人間ドック

受外来時間

午前8時30分～午前11時00分
※午後診療は各科によって異なります。
受付でおたずねください。

休日

土曜・日曜・祝祭日
年末年始(12/29~1/3)



お願い：駐車場は午前中大変混み合います。できるだけ公共交通機関を利用してください。